



2021年5月14日

各位

会社名株式会社ピアズ  
 代表者名代表取締役社長 桑野 隆司  
 (コード番号:7066 東証マザーズ)  
 問合せ先取締役管理本部長 栗田 智代  
 (TEL. 03-6811-2211)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年11月13日に公表した2021年9月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正について

2021年9月期通期 連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,830	345	350	243	108.93
今回修正予想 (B)	3,340	70	100	69	30.63
増減額 (B-A)	△1,490	△275	△250	△174	
増減率 (%)	△30.8	△79.7	△71.4	△71.6	
(ご参考) 前期実績 (2020年9月期)	3,484	331	377	238	107.10

## 2. 修正の理由

(売上高について)

計画時には新型コロナウイルス感染拡大が収束する想定のもと、2020年9月期の業績を牽引したキャッシュレス推進サービスによる売上を見込んでおりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大が想定以上に長期化したことにより、長期間に渡りキャッシュレス推進サービスの営業自粛を余儀なくされることとなりました。そこで当社は、キャッシュレス推進サービスによる業績回復に見切りをつけ、リテールテック領域への事業転換を前倒しで行うことといたしました。その結果、キャッシュレス推進サービスの営業自粛及びオフライン案件の延期等による減収により△1,000百万円、リテールテック領域への事業転換のための人員配置の変更による減収△490百万円を見込み、当初予想を下回る見込みとなりました。

(各段階利益について)

上記のとおり、新型コロナウイルス感染拡大の影響及びリテールテック領域への事業転換による減収を見込むことから、各段階利益においても影響を受けております。その一方で、案件のオンライン化等により収益性の改善も行っておりますが、リテールテック領域への事業転換を前倒しで行うことから、中長期での利益の最大化を行うための事業投資を強化することといたしました。具体的には、オンライン接客センターの開設、AIトレーニングシステム及びオンライン接客システムの開発、ZEROレジ(モバイルオーダーシステム)の開発・改修及び広告宣伝に伴う投資などを見込んでおります。以上の結果、営業利益において新型コロナウイルス影響における減収△247百万円、オンライン化等による収益改善+253百万円、リテールテック領域への投資△280百万円を見込み、当初予想を下回る見込みとなりました。経常利益、親会社株主に帰属す

る当期純利益においても同様となります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。なお、2021年9月期においては新型コロナウイルス感染症の影響が継続すると仮定しております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上